参考資料２

在宅医療・救急医療連携の推進について

（在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業）

１　目　的

高齢化の進展に伴い今後も増え続ける救急搬送需要に対応するため、「にいがた救急連携シート」を救急時に本人、家族、救急隊、医療ケアチームと共有・活用することで、円滑な救急搬送につなげる。

あわせて、普段から治療やケア、過ごし方に関する希望を家族などと共有しておくことの大切さについて、理解と実践を促し、本人の意思が尊重されやすい医療提供体制の強化につなげる。

２　事業内容

（１）「にいがた救急連携シート」の運用

既往歴、持病、服薬状況などの医療情報、かかりつけ医や緊急連絡先情報のほか、今後の治療やケアに関する本人の希望、家族等の意向を含めた情報を記載するシート（紙／ICT ツール）を救急時に関係者間で共有・活用する。令和３、４年度は西区で検証。

（２）市民啓発・専門職向け研修会の開催

ア　「医療と介護の市民講座　―　ＡＣＰオンライン講座」

市民へＡＣＰについて理解や関心を深める

イ　「意思決定支援研修会」

生活相談員や介護支援専門員、医療従事者等を対象とし、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に基づくＡＣＰを実践できる人材育成を目指す研修会を開催する

（３）在宅医療・救急医療連携ワーキンググループの開催

在宅医療と救急医療の関係者間で個人の医療に関する情報や医療・ケアに関する希望などの意思を共有するための連携ルールについて検討する。

ワーキング構成員：市医師会、医療・介護関係者、弁護士、消防局（H31.4 月設置）

３　取組状況および今後の予定

年度	実施内容	対象者
Ｒ２ ・ Ｒ３	・高齢者の救急搬送に関する課題抽出、現状把握 （ヒアリング・アンケート・意見交換会等の開催） ・ワーキンググループ開催（H31:4 回、R2:3 回、R3:3 回） ・R3.10　市民講座の開催 ・R3.12～R4.4　意思決定支援研修会の開催 ・R4.1～救急連携シート及び SWAN ネット QQ の運用開始	西区高齢者施設(※)入所者等 ※特養/老健/短期入所生活介護
Ｒ４	・R4.4～シート対象者拡大 ・ワーキンググループ開催（3 回） ・R4.12　意思決定支援研修会の開催 ・シート登録者数：339 人（R5.2.14 現在）	＋西区要支援要介護認定者
Ｒ５	・R5.4～シート対象者拡大 ・西区での検証を継続	＋西区高齢者施設(※)入所者等 ※小多機／グループホーム